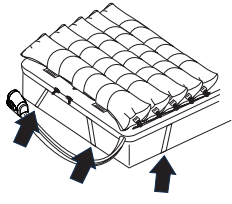
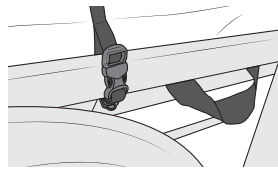

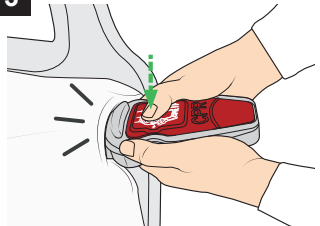
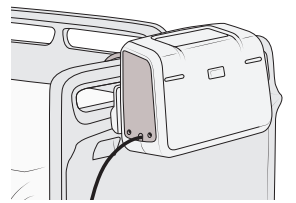
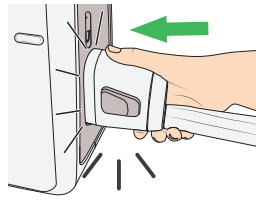
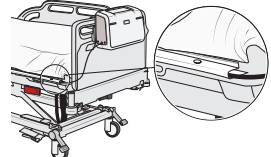


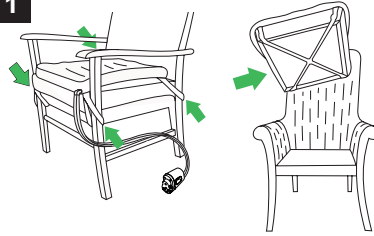
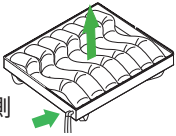
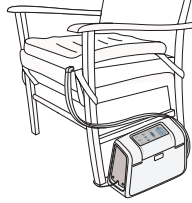
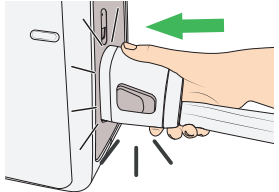
Auralis (オラリス)

マットレスオーバーレイまたは交換マットレスとポンプの組み立て方法

<p>1</p>  <p>マットレスオーバーレイ: ベースマットレスの上に置きます。 4本の固定ストラップで固定します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 足部先端のチューブセット • 頭部先端のCPR（心肺機能蘇生） • セルは上向きにしてください  <p>マットレスの交換: ベッド上に置きます。ベッドフレームの可動部分に8つの固定ストラップを取り付けます（Auralis Plusの場合のみ、頭部先端に3つ追加）</p>	<p>2</p>  <p>保護カバーをマットレスに取り付けてファスナーを閉じて下さい。足部先端にArjoロゴが見えます。</p>
---	--	--

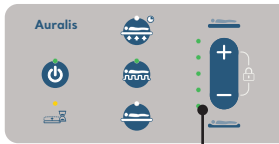
<p>3</p>  <p>CPR（心肺機能蘇生）ユニットは所定の位置にしっかり収めてください。</p>	<p>4</p>  <p>ポンプをベッドのフットボードに設置します。</p>	<p>5</p>  <p>チューブセットを接続します。</p>	<p>6</p>  <p>コードをケーブル管理ポケットに収納します。ケーブル周りのフラップをスナップボタンで閉じます。 電源コードを電源コンセントに接続します。</p>
---	---	---	--

シートクッションとポンプの組み立て方法

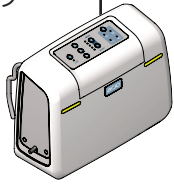
<p>1</p>  <p>シートクッション: 椅子の座面の上に置きます。 固定ストラップを使用して取り付けます。</p>	 <p>椅子の前側 椅子の背もたれ側</p> <ul style="list-style-type: none"> • セルは上向きにしてください。 • チューブセットは前方右端にあります。 • 座面に対して水平方向、椅子の前方に向かってセルがV字に見えるように置いてください。 	<p>2</p>   <p>ポンプを床に、ケーブルを椅子の下に、チューブセットを椅子の横に置きます。 チューブセットを接続します。 電源コードを電源コンセントに接続します。</p>
--	---	---

Auralisシステムの始動

1



10秒



ポンプが電源に接続されると、自動で接続チェックが実行されます。

ビーという音 - 10秒 - ビーという音 (2回) - 使用準備完了。

運転 / スタンバイボタンを押し続けます。

以下のインジケータが表示されます。

- 運転 / スタンバイ
- ウェイトインジケータ
- 交互圧力モードボタン
- コンフォートコントロールインジケータ
- バッテリー充電インジケータ
- ポンプ前面にある緑色のインジケータ

2



15分間

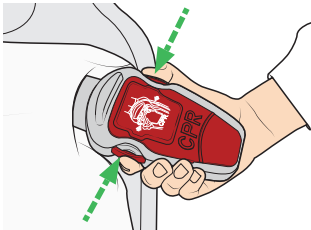
待機インジケータのライトが消えたら、マットレスの上にベッドシーツを敷きます。CPRユニットがはっきり見えていることを確認してください。

マットレスまたはシートクッションの上に患者を乗せます。

初期設定では交互圧力モードに設定されています。

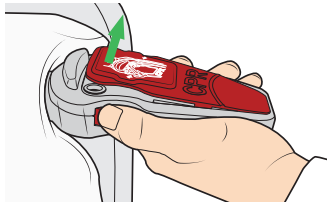
CPR ユニット

1

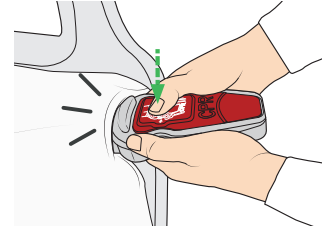


作動させるには: 両方のCPRリリースボタンを同時に押します。

2



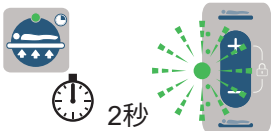
ユニットの前部が開いていることを確認してください。空気が急速に排出されます。



リセット: カチッと止まるまで、開いた部分を押し下げます。

オートファームモード

1



作動させるには: ボタンを長押しします。

コンフォートインジケータが点滅し、マットレスがオートファームになるまで膨らみます。

2



モード完了 - オートファームおよびコントロール・コンフォートインジケータが点灯に変わります。



無効にする: ボタンを押し続けるか、別のモードを選択します。



延長するには: ボタンを押すと、5分間延長します。最大 30分

延長されていない場合、ポンプは前のモードに戻ります。

交互モード、初期設定



作動させるには:

ボタンを押すと、交互圧力モードインジケータが表示されます。

セルは10分のサイクルで膨張収縮します。



無効にする:

リアクティブCLPまたはオートファームモードを選択します。

マットレス使用の終了時には、患者をマットレスから移乗させた後に、Auralis ポンプをオフにします。

リアクティブCLPモード



作動させるには：

ボタンを長押しします。

リアクティブCLPモードインジケータが表示されます。

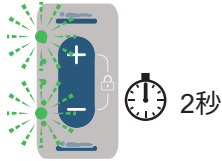


無効にする：

交互モードまたはオートファームモードを選択します。

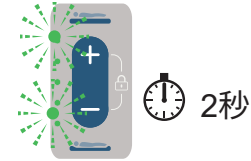
マットレス使用の終了時には、患者をマットレスから移乗させた後に、Auralis ポンプをオフにします。

ロックモード



ロック設定：

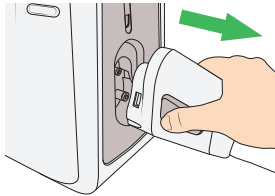
コンフォートコントロールボタンを同時に長押しします。
コンフォートコントロールインジケータが点滅します。
ポンプがロックされました。



ロック解除：

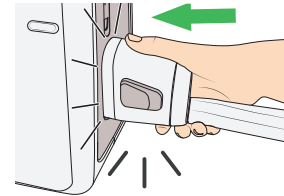
コンフォートコントロールボタンを同時に長押しします。
コンフォートコントロールインジケータが点滅します。
ポンプのロックが解除されました。

搬送モード(マットレスのみ)



作動させるには：

サイドボタンを同時に押して、チューブセットを取り外します。
輸送モードは最大12時間使用できます。



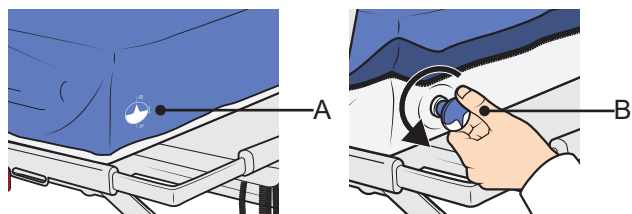
無効にする：


チューブセットを再接続します。
ポンプは前のモードに戻ります。

ボルスター(マットレス左右の支持用クッション)の膨張と収縮(Auralis Plusのみ)

ボルスター構成：

- 片方のボルスターが膨張（左または右）
- 両方のボルスターが膨張（左および右）
- 両方のボルスターが収縮（左および右）



 けがのおそれや不快感
搬送モードを無効にする

ボルスターの膨張：

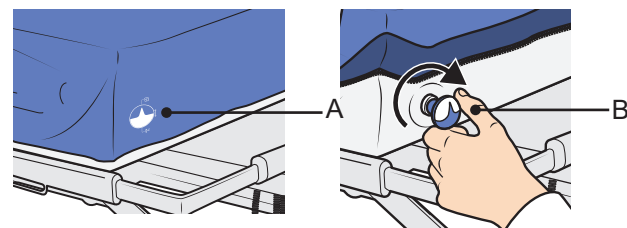
バルブ記号(A)を確認します。

ボルスターのバルブ(B)を反時計回りに最後まで回します。

必要に応じて、他のボルスターでも同じ操作を行います。

8分間膨張させます。

注記：ボルスターを膨らませる前にベッドフレームの幅を拡張。



ボルスターを収縮させる：

バルブ記号(A)を確認します。

ボルスターのバルブ(B)を時計回りに最後まで回します。

必要に応じて、他のボルスターでも同じ操作を行います。

5分間放置し空気を抜きます。

注記：ベッドフレーム幅を狭める前にボルスターから空気を抜きます。